

総務費

第6次総合計画策定は町民とともに

今野委員

今年度から次期

計画の調査に入るが、ぜひ、町民と行政一体となつて進めるべき。

当局

現在の総合計画は毎年実施計画をつくりなが

歳出

（町の支出）

質疑

ら、振興審議会等には
かり進めている。

今後、アンケート調査や座談会、ワークショップの開催などにより、町民の皆さんの声を反映していく。

地域おこし協力隊への定住支援は

佐藤委員

5人増
員の内容

と、定住に向けた町の取り組み体制を強化すべき。

当局

新たな受け入れについては各コミセンで検討いただきたい。

定住に向けた取り組みはしているが、本人の意思が一番。それぞれの地域で活動した結果として、白鷹に住んでみたいという選択をしてみたいようにがんばっていききたい。

公平なコミセン分館運営を

今野委員

分館の維持・管理

等への支援には、一定の基準が必要と思うが。

当局

昨年10月、各分館に来年度の予定について希望を聞いた。

制度の周知をはかったうえで、早い者勝ちということのないように、できるだけ意向に沿った形での対応ができるように配慮していく。



活躍中の地域おこし協力隊

女性が輝く社会の実現への取り組みは

関委員

男女共同参画推進

進計画に基づく女性が輝く社会の実現とあるが、具体的な内容は、

当局

男女共同参画による意識

の向上、就労環境改善対策事業、働きやすい環境づくりの研修会を予定している。各種審議会委員など女性の割合を40%以上の目標としている。

